

(別紙5)

補助事業番号 26-1-148  
補助事業名 平成26年度 地域ふれあい交流活動 補助事業  
補助事業者名 島根県 益田市立西南中学校

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

三世代交流(中学生、保護者、高齢者)を年間3回計画し、地域との交流活動を積極的に推進する。その中で培われる道徳的実践力を基盤に教育活動の充実を図る。また、食育にも力を入れ、益田市内では最初に『弁当の日』を実施した。計画的に地域の食生活改善推進委員の方との調理実習や農業法人の協力を得ながら籾撒きから田植え、稲刈り、脱穀、袋詰め、販売体験までを行い、生徒の感謝の心や達成感を育む。あわせて、和太鼓を継続的に教わることによる本物体験や地域での披露による自己表現を通して将来の地域を担う人材の育成をめざすとともに、地域の活性化につなげたい。

### (2) 実施内容

#### ① 「地域交流活動」を年間3回実施

<http://www.iwami.or.jp/seinanjh/2014katudoujigyou.html>



6月22日 [三世代交流地域参観日](#)



9月14日 [三世代交流運動会](#)  
(小学校・中学校・地域合同)



11月8日 [三世代交流文化祭](#)

②3年間を見通した食育の取組「弁当の日」、「稲作・学校農園」

<http://www.iwami.or.jp/seinanjh/2014katudoujigyou.html>



各学年年間3回の弁当の日



6月25日地域の食生活改善推進委員さんと共習型「食の学習会」



7月17日レストランシェフを講師として招き自分たちが育てた夏野菜を使った「夏野菜調理実習」



9月17日農業法人「横尾衛門」さんのご協力を得ながら脱穀作業



12月13日広島市で販売体験

(別紙5)



プロによる技術指導  
(自己表現、生き方を学ぶ)



10月26日二条ふるさと祭でステージ発表  
(地域の皆さんから大きな声援を受ける)

## 2 予想される事業実施効果

地域住民の交流の拠点が学校になることにより、空き教室や施設の利用、共習型の授業の展開、地域の人材の確保、生涯学習の拠点など、学校と地域のどちらにもメリットがある取組が期待できる。

## 3 本事業に係る成果物

- (1) 補助事業により作成したもの 特になし
- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
  - ・学校だより、三世代交流事業の感想チラシ

<http://www.iwami.or.jp/seinanjh/koutyodayori.html>

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 島根県 益田市立西南中学校

(シマネケン マスダシリツセイナンチュウガッコウ)

住所： 〒698-2255 島根県益田市上黒谷町514

代表者： 校長 城市博明 (ジョウイチヒロアキ)

担当者名： 教頭 寺戸和泉 (テラドイズミ)

電話番号： 0856-29-0013

F A X： 0856-29-0013

E - m a i l： [terado-izumi@masuda-school.ed.jp](mailto:terado-izumi@masuda-school.ed.jp)

U R L： <http://www.iwami.or.jp/seinanjh/>